

平成 20 年 9 月 19 日

各 位

マ ネ ッ ク ス グ ル ー プ 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 C E O 松 本 大
(コ ー ド 番 号 8 6 9 8 東 証 第 一 部)

投資有価証券評価損に関するお知らせ

当社は、「その他有価証券」に区分される保有投資有価証券のうち、時価が下落し、その回復可能性が認めにくいものについて、平成 21 年 3 月期第 2 四半期末において減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期末の投資有価証券評価損の総額

	連結	個別
(A) 平成 21 年 3 月期第 2 四半期末の投資有価証券評価損の総額	2,939 百万円	2,939 百万円
(B) 平成 20 年 3 月期末の純資産の額 (A/B×100)	45,554 百万円 (6.5%)	38,057 百万円 (7.7%)
(C) 平成 20 年 3 月期の経常利益額 (A/C×100)	12,811 百万円 (22.9%)	10,608 百万円 (27.7%)
(D) 平成 20 年 3 月期の当期純利益額 (A/D×100)	7,206 百万円 (40.8%)	10,345 百万円 (28.4%)

※ 業務・資本提携にともなって 2007 年 4 月に当社が取得し保有しているイーバンク銀行株式会社の株式について時価評価した結果、減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じたと判断したことによるものです。

2. 今後の見通し

上記投資有価証券の減損処理の結果、当社の平成 21 年 3 月期第 2 四半期（平成 20 年 4 月から平成 20 年 9 月まで）の連結業績見通しにつきましては、四半期純利益 0 億円～3 億円程度の水準を予想しております。

なお、当社グループの主たる事業である証券ビジネスは、株式市況の影響を大きく受け、業績予想が困難であるため、通常は将来の業績予想は開示しておりません。

以 上

【お問合せ先】

マネックスグループ株式会社

社長室 コーポレートコミュニケーション担当 久保田・福井 電話 03-6212-3750